

えんちょう先生の わくわくだより

NO20 令和3・1・26



今回は未満児組のわくわくですが、兄弟に赤ちゃんのいる子も多いから全員に配布します

トイレトレーニングは焦らず、でも根気良く！



節分を前に、陽の長さが随分違ってきましたね。小さなこどもを園に送り出し、お仕事をされているお父さん、お母さんには大変な冬もあと少し、頑張ってください。入園の頃を思い出すと、小さかったこども達も随分成長し、にこにこ顔で過ごせる様になりましたが、1歳から3歳になるまでの子ども達は実に難しいです。「おいで～」と呼んでも自分の行きたい所へ知らん顔でどんどん行っちゃうし、「これやろ」と言えば「いや」「やらん」の連発。

「自分で」と言ったら手を出されるのをとても嫌がり、手伝えば怒るし、でもすぐに飽きて放りっぱなしで跳び回っている事も度々。自分の思いどおりにならなくて泣きだせば、いつまで経っても人目かまわず泣き続けて止まらないし・・・「もうどうやって付き合っていけばいいのだろう？」なんて思われているお父さんやお母さんもみえる事でしょう。

「まか不思議な1歳児」「恐れおおい2歳児」なんて言われる様に1歳と2歳では、体も気持ちの育ちも随分違いますが、この年齢の子ども達に「何でわからんの?」「どうしてなの?」と、直に向かっても勝ち目はありません。「順番」とか「ちょっと待って」などの抽象的な言葉の意味や関係を、まだうまく理解したり言葉で表したり出来ない子ども達は、今、目の前にある物がやりたいかやりたくないか ほしいかほしくないかで動いているのですから・・・こうした子どもの育ちを、わがままと捉えないで「発達の通り道」と理解すれば少し楽に「あーあ 又はじまった～」とおおらかに見守れるのではないのでしょうか。

保育の中から

外遊び中のA君とB君



砂場遊び中、A君の引いている手押し車がほしいと言いつつ出したB君。

「あっちに、他の車があるでさかしてこよう?」と言っても「これがほしい」の一点張り。

そこでA君に代わってくれる様に言っても「これAの!」と聞かず・・・そこで保育士が「運転手さん、お仕事に行ってお帰り下さい お仕事が終わったら早く帰ってきてね」と声を掛けると、「はい行って来まーす」と張り切って出掛けていったA君。B君には「A君がお仕事に行ったから先生と一緒に待ってよう」と椅子に掛けて見ていると、「ただいま～」とすぐに戻ったA君。「お仕事ご苦労様」と声を掛けると「あ～つかれた」と手押し車を離して保育士の横に座りました。「今度はB君、お仕事に行ってお帰りね」の先生の声に「はい」といい顔で出掛けて行きました。そこでA君を違う遊びに誘ったので、B君は暫く手押し車が使えました。

いつもいつもこんなに上手いくとは限らないけどちょっと子どもの気持ちを切り替えたり、ワンクッションおいてその事に向かわせて見るのも手ですね。

排泄は睡眠や食事と並び個人差が大きい生活習慣の一つです。急がなくてもいいけれど丁寧に子どもとかかわってゆけると良いですね。又、子どもの体の発達を知っていると安心して見守れると思います。

0歳児（産休明け～3ヶ月頃）・膀胱にほとんど尿をためられず、少量のおしっこを1日に20回くらいします。「おしっこ出たね」「おむつを替えようね」「あー気持ちいいねえ」などの声を掛けながらおむつを替えましょう。

0歳児（4～5ヶ月頃）・夜、睡眠時の排尿回数が減り日中も排尿間隔が少し長くなります。子どもは、泣いて気持ち悪さを知らせる様になり、替えて貰った後の気持ち良さを感じることがとても大事です。

0歳児（6～11ヶ月頃）・さらに排尿の間隔が開き排尿の回数は1日10回くらいになります。おむつ交換は睡眠や食事の前後など生活の節目ですといいでしょう。やさしく声を掛けながらおむつを替えましょう。

1歳前半・・・1歳を過ぎると排尿の間隔がほぼ一定になります。午睡後におむつが濡れていなかったらトイレにさそってみましょう。「○○ちゃんトイレにすわってみよ」と声を掛け、うまくいったらラッキー!そこでおしっこが出たら、もっとラッキー「あ!おしっこでたね」と声を掛け、子どもをちょっと得意な気持ちにさせて達成感につなげましょう。でも、すんなり行かないのがこの時期。1歳後半位になると、一旦座っていたトイレもいやがって行かなくなったりします。押ししたり引いたり等お母さんの根気のいる時期ですね。

2歳前半・・・おしりが濡れる気持ち悪さがわかり、一定時間（2～3時間）排尿を我慢できるようになります。トイレに間に合わない事もよくあるけれど、「あれ、ぬれちゃったね きれいにしようね」「今度はもう少し早くいこうか」と次につなげましょう。薄着になる夏場はパンツに替えるいいチャンスです。失敗したら替えればいいや!くらいの気持ちでパンツを沢山用意しましょう。

2歳半～3歳・・・自分で尿意を感じ、トイレでパンツを下ろして排尿が出来る様になってきます。でも、季節や体調、気分によって間に合わなかったり、おむつに戻ったりする時期です。行きつ戻りつする頃ですが、大人が気にしすぎて「おしっこは?」とプレッシャーになるほど頻りに声を掛けない事です。成功した時にはうんと褒め、失敗しても、「まだまだ練習中」とおおらかに見守りましょう。

大きくなれば誰でも出来る事だけれど、その年齢毎の課題に丁寧に向き合っていけると良いですね。お母さんのそうした働きかけを愛情と感じながら子どもは育っていきます。個人差の大きい事も十分に認めながら、焦らず見守っていきましょうね。

これから暖かくなっていくから、3才になった子は、おむつからトレーニングパンツに変えて練習をしていきましょう。

